史

満洲国『建国大学研究院月報』と武道

○志々田 文明（早稲田大学）

キーワード：満洲国, 建国大学, 武道, 研究院月報

1. はじめに

日本の関東軍が主導して1938(康德5)年に満洲国に設立された満洲国政府直轄の建国大学では、学生の在学期間中（前期3年・後期3年）の前期軍事訓練、農業訓練と並んでも武道訓練の科目（剣道、柔道、合気道等）を必修でおき重視していた。建国大学では民族協和を旗印にし日本・中国・蒙古・朝鮮・囲村（白翼と村）などの民族青年を塾に入れて生活をさせていたが、日本武道に期待するもののは指導民族たる日本の伝統文化としての武道で英義を養い満洲国の次代を担う青年を育成しようとする意図が働いていたものと思われる。武道教育がどのように機能したのかという問題は武道のもつ可能性と限界を示す上で興味深い問題である。本報では従来の研究で十分な活用がなされなかった廃止研究の初段史『建国大学研究院月報』について武道との関連で概要的な紹介を行うことになった。

2. 史料『建国大学研究院月報』と武道について

(1) 発行所：建国大学研究院（新京特別市単）。 年は1940(康德7)年9月15日、最終号は1945(昭和20)年1月25日。

(2) 第1号(1940年9月15日)に「武道研究」創刊号として掲載。「創刊号(第1号)は、創刊号当時における武道の概要である」という明確な記載が見られる。創刊号(第1号)には、「武道」としての武道の研究が掲載されている。創刊号(第1号)には、「武道」としての武道の研究が掲載されている。

(3) その後、創刊号(第1号)に続く第2号(1940年9月25日)と第3号(1940年10月3日)は、「武道」としての武道の研究が掲載されている。創刊号(第1号)には、「武道」としての武道の研究が掲載されている。

(4) その後、創刊号(第1号)に続く第2号(1940年9月25日)と第3号(1940年10月3日)は、「武道」としての武道の研究が掲載されている。創刊号(第1号)には、「武道」としての武道の研究が掲載されている。

3. まとめ

(1) 研究院月報は創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始まり創刊号に始ま